

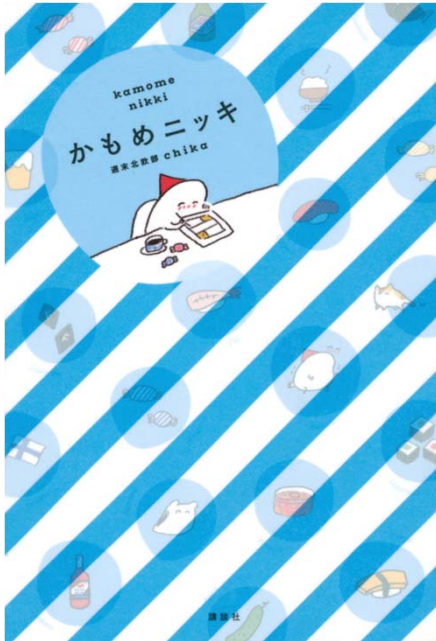


創英の風

2022年冬号
(第24号)

2022年12月8日発行
発行人：上條 優子(図書館長)
編集人：図書・研究委員会

教職員からのおすすめ本

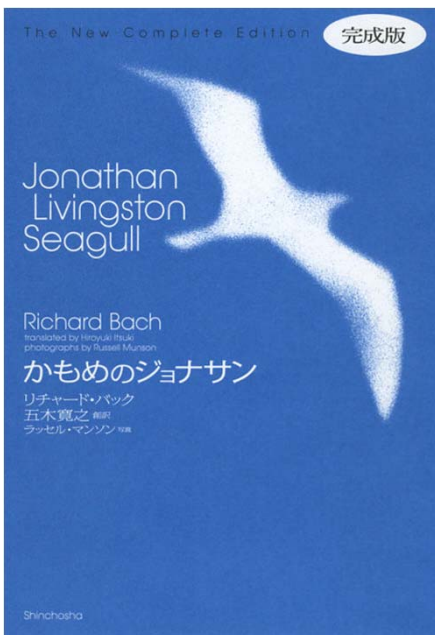


看護学部 小川 雅代先生
『かもめニッキ』
週末北欧部chika/著
出版社名 講談社
出版年月 2022年9月



著者は大学生のときに、フィンランドに旅行に行って「いつかこの国で暮らしたい」という夢ができました。その後、紆余曲折あって、今年33才で夢を叶えて、フィンランドで寿司職人として働いています。

この本は、著者がフィンランドに移住するために頑張りながらも、日々の生活を楽しんでいる様子が絵日記で描かれています。英語力を磨いたり、フィンランドで働くために会社員をしながら寿司職人になるための学校に通っています。はたから見るととても大変そうなのですが、お友達とおすすめのお菓子を送りあったり、猫を保護したり、家族と幻のキムチを探したりなど日々の生活を楽しんでいます。今の生活を楽しんでこそ、夢に向かって頑張る力もわいてくるのだろうと、私もこの本から力をもらいました。



看護学部 藍木 桂子先生
『かもめのジョナサン【完成版】』新潮文庫
リチャードバック/著 五木寛之/訳 ラッセル・マンソン/写真
出版社名 新潮社
出版年月 2015年7月

18,9歳…当時の彼から贈られたのが「かもめのジョナサン」。その本はなく、年月を経て改めて手に取ると“Part Four”が追記されていた。

かもめ社会を通して今回、ジョナサンからの多くのメッセージに気づくことができました。追究・学ぶことの喜び、そして学びの分かち合いという形の愛情表現…「生きる意味」など哲学的な思考も求められ、今の私にはまだ全てを受け止められないが、またいつか読み返してみようと思う。



教職員からのおすすめ本



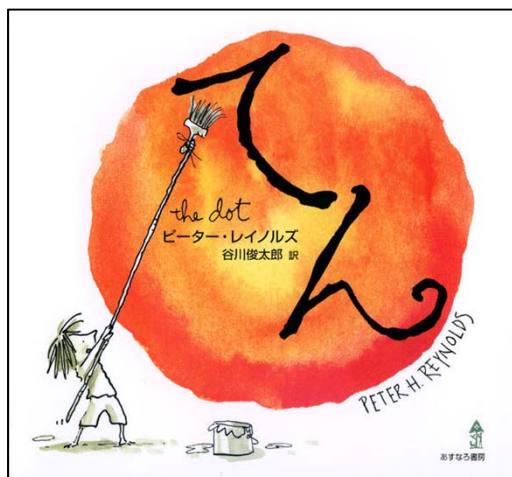
こども教育学部 流石 良子先生

『てん』

ピーター・レイノルズ/作 谷川俊太郎/訳

出版社名 あすなろ書房

出版年月 2004年1月



お絵描きなんて大きらい。苦しまぎれに描いたのは、ちっぽけな《てん》ひとつ。そのちっぽけな《てん》にかくされた大きな意味を知って主人公は変わり始めます。

何かをつくったりかいたりすることを苦手に思っている人を勇気づける楽しい絵本です。ちょっとした大人のアシストは、子どもの未知の才能を大きく開花させる原動力。先生といわれる人たちだけでなく、子どもとかかわる全ての大人たちにであってほしい絵本です。

作者ピーター・レイノルズの次の作品「つばい」も、子どもとかかわる全ての大人に一度は読んでもらいたい絵本です。一人ひとりの思いを大切にすることに気づかせてくれる短いお話です。お話は短いのですが、こめられたメッセージはとても大きく感じます。何度も繰り返し読みたくなる絵本です。



こども教育学部 棕田 美穂先生

『葉っぱのフレディ いのちの旅』

レオ・バスカーリア/作 みらいなな/訳 島田光雄/画

出版社名 童話屋

出版年月 1998年10月



絵本の扉を開け、中表紙をめくるとそこにメッセージが・・・。

～この絵本を自分の力で「考える」ことをはじめた子どもたちと子どもの心をもった大人たちに贈ります。わたしたちはどこから来てどこへ行くのだろう。生きることはどういうことだろう。死とはなんだろう。人は生きているかぎりこうした問いを問いつづけます。この絵本が自分の人生を「考える」きっかけになってくれることを祈ります～

紅葉の時期が終わり、はらはらと舞い落ちる葉がほとんどなくなる、晩秋から冬にかけて読んでほしい1冊です。



教職員・学生からのおすすめ本



図書館 司書スタッフ

『カラダの不思議としくみ入門』

中島雅美/監修

出版社名 朝日新聞出版

出版年月 2021年6月



生まれてこの方ウン十年、私はおかげ様で何とか大病もせず、元気に過ごす事ができております。しかし、世界的なコロナウィルスの広がりを経験し、日々の生活において様々な見直しが迫られています。その様な中で改めて、日頃何の疑問もなく動いている身体の機能と、その不思議さを、この本は解りやすく説明してくれます。

例えば、なぜ、自分の意志で呼吸しているにもかかわらず寝ている時も呼吸を続けていられるのか?血液サラサラが嬉しいというが、どのような状態のことをいうのか?なぜ足がきゅうにつるのか?なぜおなかがいっぱいなのに「別腹」でデザートが食べられるのか?身の回りの身体のしくみが次々と納得でき、まさに目からウロコ状態です。

そして最終的に、からだは心身ともに健康な状態であることが、元気で長生きするためにとても重要だということ、ひしと感じることが出来ます。皆さんも時間がある時にぜひ手に取っていただければ幸いです。

看護学部1年生 岩本 彩伽さん

『流星の絆』講談社文庫

東野圭吾/著

出版社名 講談社

出版年月 2011年4月



私のおすすめする本は、東野圭吾さんの「流星の絆」です。この本は幼い頃に両親を殺された3兄妹が、詐欺を働きながら時効が迫る14年後に真犯人を追い詰める復讐劇です。読み応えがありこのお話に出会った時から好きな一冊です。

このお話は、嵐の二宮さん主演でドラマ化もされています。ドラマと小説とでは展開・結末が少し変えられていて、どちらを見ても面白いと感じられるのではと思います!個人的には、小説の内容が最後にあっ!と驚かされたのでおすすめです。

看護学部1年生 太田 彩結さん

『スターバックスの教え』

目黒勝道/著

出版社名 朝日新聞出版

出版年月 2014年7月



突然ですがスターバックスというお店はご存じでしょうか。知っている人が多数なのではないかと思えます。このお店が好きでよく行かれるという方も多いかもかもしれません。では多くの方がスターバックスに赴く理由はなんでしょうか。商品が美味しい?身近にあるから?もしかしたら「定員の丁寧な接客」に好印象を抱いているのではないのでしょうか。

この本にはスターバックスが実践する感動体験のプロセスが記されています。皆さんが知らず知らずのうちに「また行きたい」と思ってしまうのはなぜなのか。コミュニケーションとは、人を喜ばせるとはなにか。人と接する職を志す私たちにも、将来役立つかもしれない知識がたくさん書かれています。活字が苦手な方にも読みやすい文体なので、興味がある方は是非読んでいただきたい一冊です。



図書館からのお知らせ

①新着本が続々入荷
10月以降、図書館には続々と新しい本が入ってきています。勉強の参考になる本がたくさんあるので、図書館に寄った際にぜひチェックしてみてください。場所はカウンター前に特設してあります。



②本の福袋を実施!
1月中、カウンター前で「本の福袋」を実施します。福袋の中にどんな本が入っているのかは開けてからの楽しみ♪借りて読んでみてくださいね。借りてくれた方にはおみくじチャンスもありますよ。



展示コーナー歳時記

10月～12月 大人が楽しむ子どもの本

「子ども向け」と侮るなかれ。読んでみると案外奥深い内容の本がたくさんあります。『100万回生きたねこ』をはじめ、大人でも楽しめる“しかけ絵本”も展示しています。



1月～3月 試験直前!看護国試対策本!

今年度の国試試験日は2月12日です。それに向けてラストスパート!国試対策本を展示します。図書館は1月4日から開館しています。ぜひたくさん活用してください。



図書館開館予定

2022年12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2023年1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

□ 8:30～20:00

■ 10:00～17:00

■ 短縮開館 9:00～17:00

■ 休館日

開館日・開館時間は変更になる可能性があります。その際は、掲示等にてご案内いたします。